



## 【チンパンジーの学ぶ姿に習う—比較認知科学実験実習—】実施報告

○開催日時：平成25年11月2日（土）9:00～12:00

○参加者：京都市立高野中学校 生徒6名，引率1名，

田中健太（2年），今井恵仁（2年），塚田究（2年），加藤輝（1年），東洗樹（1年）  
加藤純（2年），松本鉄平（引率教師）

○講師：生き物・学び・研究センター 田中正之，TA1名（京都大学3回生，石塚真太郎）

○活動内容

京都市動物園では，チンパンジーたちが毎日「勉強」している。チンパンジーたちが勉強している部屋に入って，彼らが勉強する姿を間近に観察した。チンパンジーはひとりひとり性格が違い，その性格が顔や表情に映っている。チンパンジーの勉強する姿を見ながら，彼らひとりひとりの個性を考え，その学びの姿から自分たちの姿を振り返らせた。

勉強の後は，屋外運動場で過ごすチンパンジーの群れを観察した。各人がワークシートを持ち，それぞれターゲットの個体を決めて，1分間隔のスキャンサンプリングを行なった。具体的には，1分間にセットしたタイマーに合わせて，ベルが鳴ったそのときのターゲット個体のいる場所と，そのときターゲット個体に一番近くにいた個体（Nearest Neighbors ; NN）を記録した。1回10分間のセッションを3回，その都度ターゲット個体を変えておこなった。

参加者は，チンパンジー学習室の収容人数の制約で6名としたが，それぞれ真面目に取り組んでいた。勉強時間中に5個体いるチンパンジーのそれぞれの顔を覚え，屋外運動場の観察では個体を見間違えることなく，調査をおこなった。この他，チンパンジー学習室では装置の動作の説明，課題の内容の説明，チンパンジーの行動や音声レポーターの説明などをおこない，皆熱心に聞きながら，チンパンジーの様子を観察していた。

### 【実習の様子】



学習室での観察



ごほうびのリンゴを並べる。3か所を6人で分担。



屋外運動場で観察実習。



ワークシートを片手に行動観察。



赤ん坊は気ままにあちこち動く。



真面目に観察。

【所感】中学校の秋は文化祭，体育祭，諸々の行事でなかなか時間が取れず，8月以来の実施と  
なってしまったS P P実習だが，参加者は皆真面目に取り組んでくれた。8月のエンリッチメン  
ト実習の参加者も多かったので，チンパンジーに対する理解も高かった。これから年度末に向け  
て，ペースを上げて実施をしていきたい。



生き物・学び・研究センター  
センター長 田中正之